

## 「財務柔軟性と大型投資の実行可能性」

菊地 和宏（一橋大学大学院経営管理研究科 博士後期課程）

### 【要旨】

近年、将来の投資ニーズに備えて財務柔軟性を確保することが、企業の財務政策において重要であるとの議論がなされている。本研究の目的は、財務柔軟性の重要性を主張する際の前提となる「負債調達における財務柔軟性の確保が企業の大型投資の実行可能性を高める」という仮説を検証することである。本研究では、財務柔軟性を高める行為として、有利子負債の縮小と少額銀行借入の維持に着目し、これらの行為が大型投資の実行可能性を高めるとの仮説を立て、比例ハザードモデルを推定することで検証した。その結果、仮説と統合的な実証結果を得た。また、内生性を考慮しても実証結果は概ね変わらないことを確認した。